

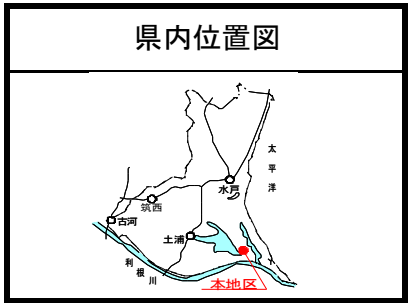
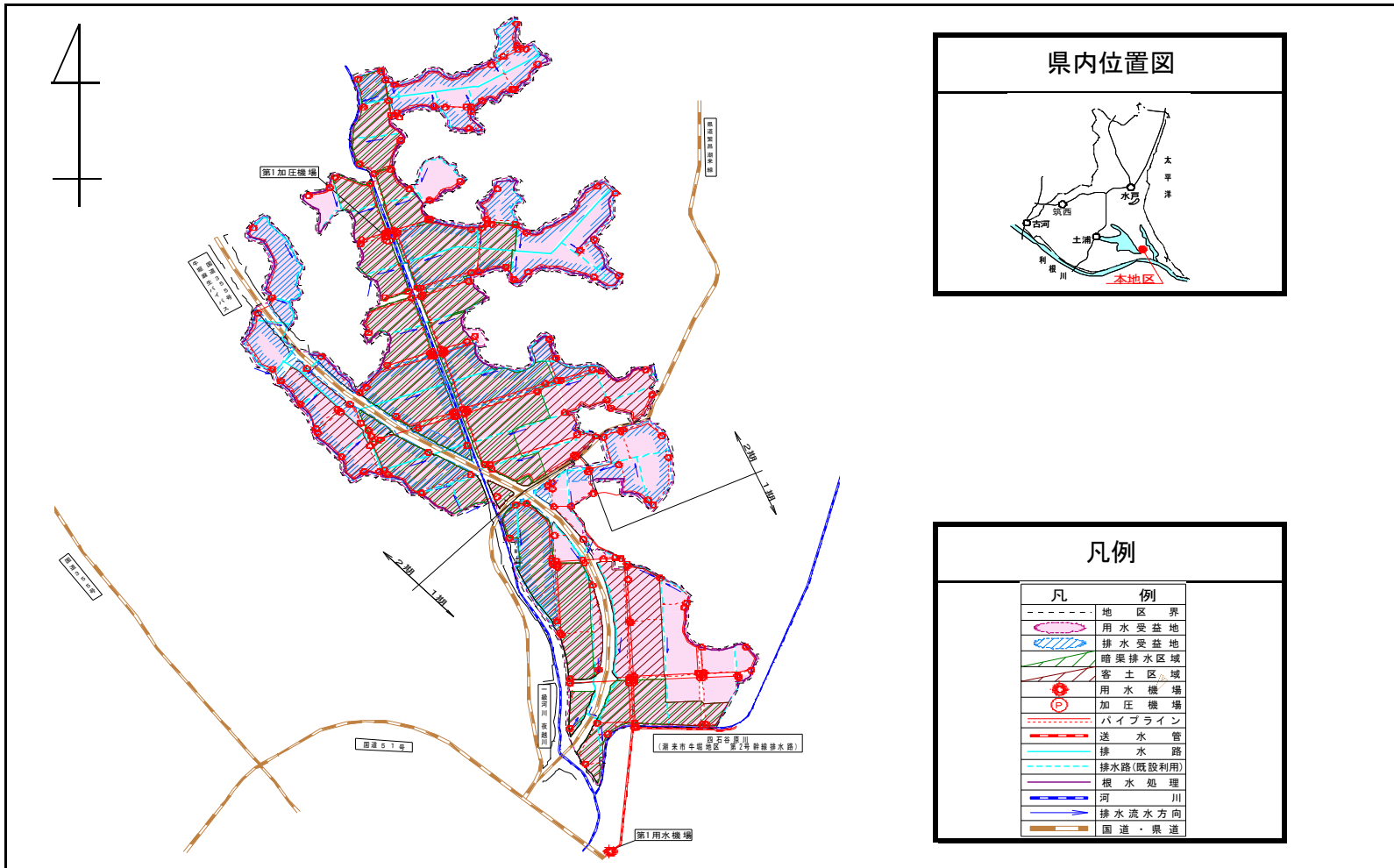
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業	地区名	うしほり 牛堀
関係市町村	いたこし 茨城県潮来市	事業主体	茨城県
事業目的	<p>本地区は、茨城県南東部に位置し、南側の一級河川常陸利根川と西側の霞ヶ浦（西浦）に囲まれた稲作地帯であり、水稻を中心とし、飼料用米やしゅんぎく等を組み合わせた営農が展開されている。</p> <p>本地区の農地は、昭和40年から50年代に整備されているが、用水については、石綿管で施工されており、老朽化による管の破損が頻発し、維持管理に多大な労力を費やし、営農にも支障を来している。排水については、現況排水路の排水能力が不足しており、地下水位も高いため、水田の汎用化等営農に支障を来している。</p> <p>このため、本事業により農業用排水施設の再整備を暗渠排水や客土とともに総合的に実施することにより、生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、併せて担い手への農地集積の加速化を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。</p>		
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費
	96ha	242戸	1,581百万円
	主要工事	用水路 33km 排水路 4 km 暗渠排水 51ha 客 土 66ha	
	関連事業	県営ほ場整備事業 牛堀地区 県営かんがい排水事業 牛堀地区	
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C
	3,310百万円	2,120百万円	1.56
概要図	別添のとおり		

出典：牛堀地区土地改良事業計画概要書

概 要 図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 牛堀地区（全体）



凡例

凡	例
- - -	地区界
（斜線）	用水受益地
（点線）	排水受益地
（点線）	暗渠排水区域
（点線）	客土区域
（点線）	用水機場
（点線）	加压機場
（点線）	パイプライン
（点線）	送水管
（点線）	排水路
（点線）	排水路（既設利用）
（点線）	根水処理
（点線）	河川
（点線）	排水流水方向
（点線）	国道・県道

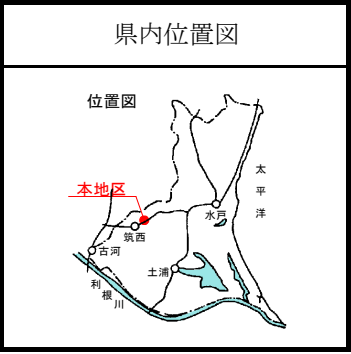
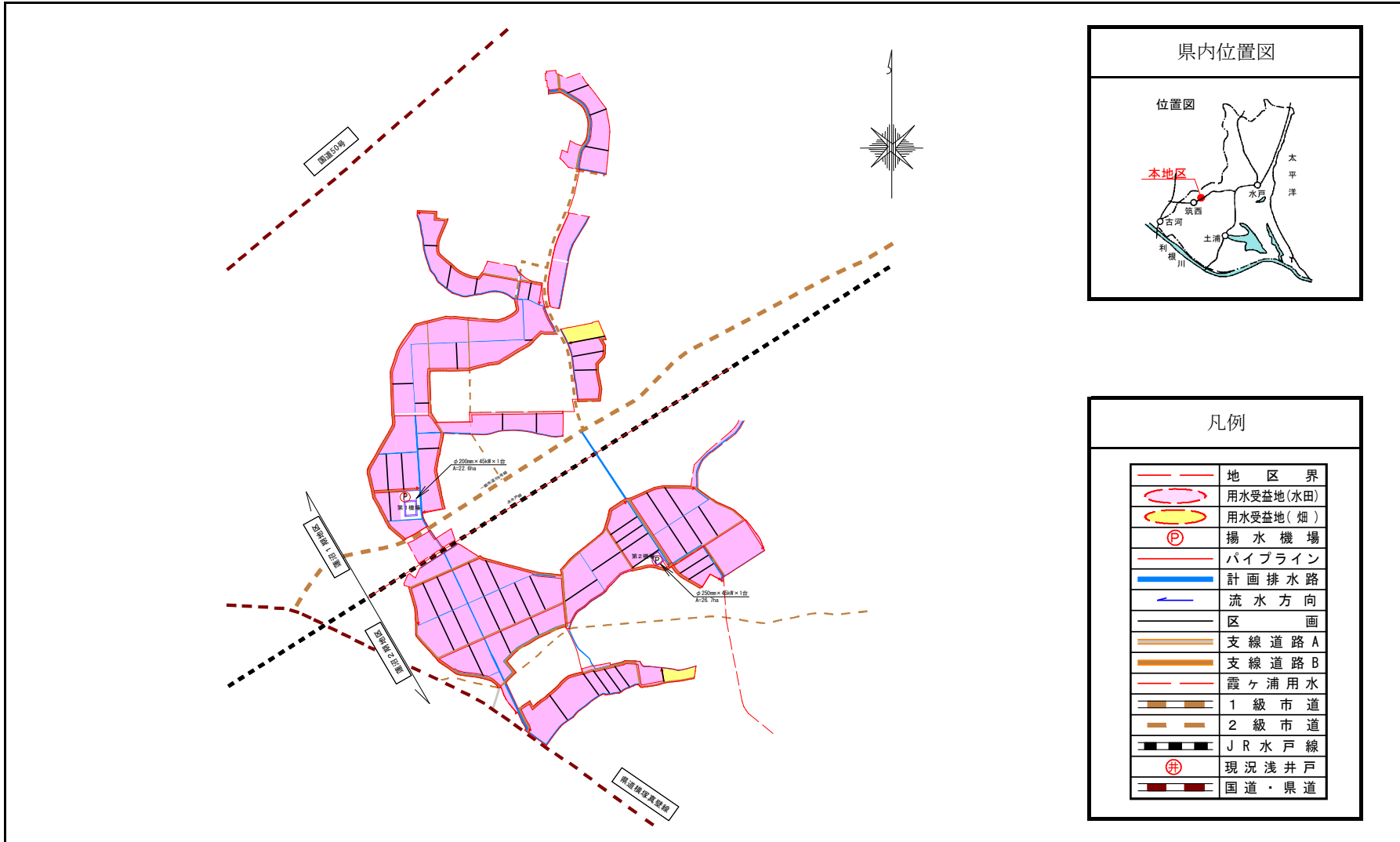
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業	地区名	はすぬま 蓮沼
関係市町村	茨城県筑西市 <small>ちくせいし</small>	事業主体	茨城県
事業目的	<p>本地区は、茨城県筑西市の東に位置し、小貝川左岸の低平地に広がる農業地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。</p> <p>本地区の農地は、昭和初期に整備されているが、区画は10aと小さく、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなっている。また、用排水路、農道などの生産基盤は、未整備状態のため営農の近代化の必要性が高まっている。</p> <p>このため、本事業により区画整理による大区画化や用排水、農道を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図るとともに担い手への農地集積の加速化を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。</p>		
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費
	49ha	132戸	1,092百万円
	工期	平成30～35年度	
	主要工事	区画整理 49ha	
	関連事業	国営かんがい排水事業 霞ヶ浦用水一期地区 国営かんがい排水事業 霞ヶ浦用水二期地区 水資源開発公団事業 霞ヶ浦用水地区 団体営かんがい排水事業 霞ヶ浦用水西部地区 県営ため池等整備事業 井出蝦沢堰地区	
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C
	1,860百万円	1,469百万円	1.26
	算定方式 総費用総便益比方式		
概要図	別紙のとおり		

出典：蓮沼地区土地改良事業計画概要書（茨城県農村計画課作成）

概要図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 蓮沼地区



凡例

	地区界
	用水受益地(水田)
	用水受益地(畑)
	揚水機場
	パイプライン
	計画排水路
	流水方向
	区画
	支線道路A
	支線道路B
	霞ヶ浦用水
	1級市道
	2級市道
	JR水戸線
	現況浅井戸
	国道・県道

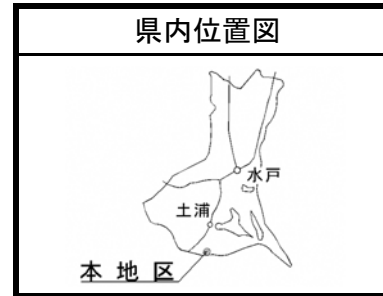
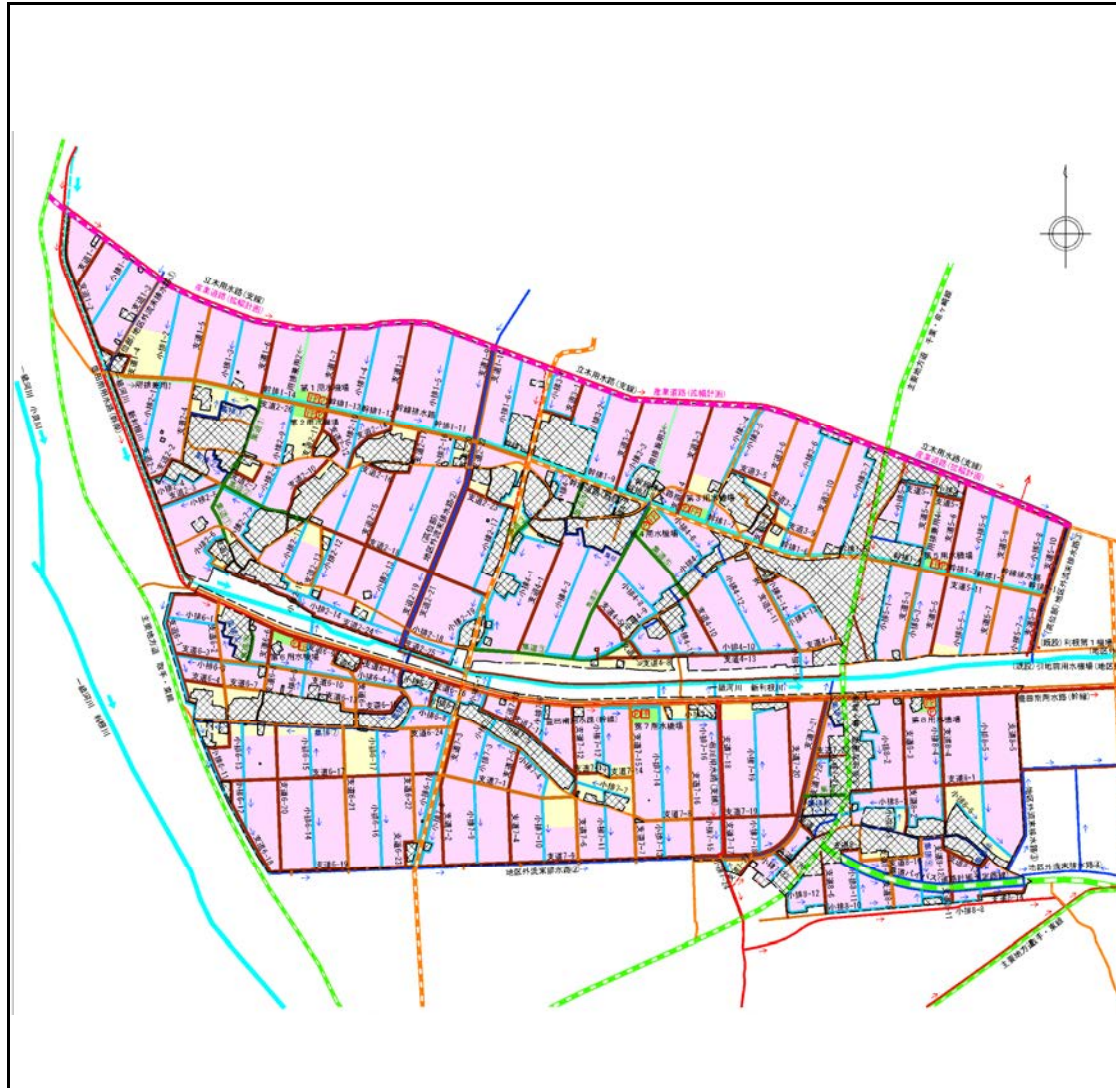
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業	地区名	<small>とねせいぶ</small> 利根西部	
関係市町村	<small>きたそうまぐんとねまち</small> 茨城県北相馬郡利根町	事業主体	茨城県	
事業目的	<p>本地区は、茨城県稲敷郡利根町の西部に位置し、1級河川新利根川の最上流部に拓けた農業地帯であり、水稻を中心とし、大豆、ねぎ等を組み合わせた営農が展開されている。</p> <p>本地区の農地は未整備又は10a区画の小区画であり、耕作道も狭く、用排水路のほとんどが土水路であることから、営農や維持管理に多大な労力を費やしており、担い手の経営規模拡大の支障となっている。</p> <p>このため、本事業により区画整理による大区画化や、用排水施設、農道、暗渠排水を整備することで、生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業の生産性の向上を図り、担い手への農地集積の加速化を進め、本地域の農業競争力の強化を図るものである。</p>			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	242ha	419戸	6,258百万円	平成30～41年度
	主要工事	区画整理 242ha		
	関連事業	—		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	9,119百万円	6,436百万円	1.41	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：利根西部地区土地改良事業計画概要書（茨城県農村計画課作成）

概 要 図

農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業 利根西部地区



凡例

記号	
---	地区境界
	水田(受益地)
	畑(受益地)
	非農用地(機場敷地)
---	幹線及び小用水路(既設)
---	地区外流末排水路(既設)
---	支線道路(A6舗装)
---	支線道路(砂利舗装)
---	幹線排水路
---	小排水路
---	用排兼用水路
---	産業道路(拡幅計画)
---	農業集落道路
---	農業集落排水
---	河川
	流水方向
	用水機場
	調整池
	地区外既設用水機場
---	泉道
---	1級, 2級町道
---	県道バイパス(予定)
	地区外

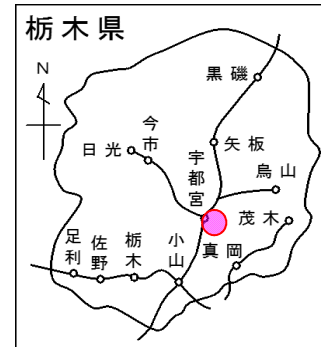
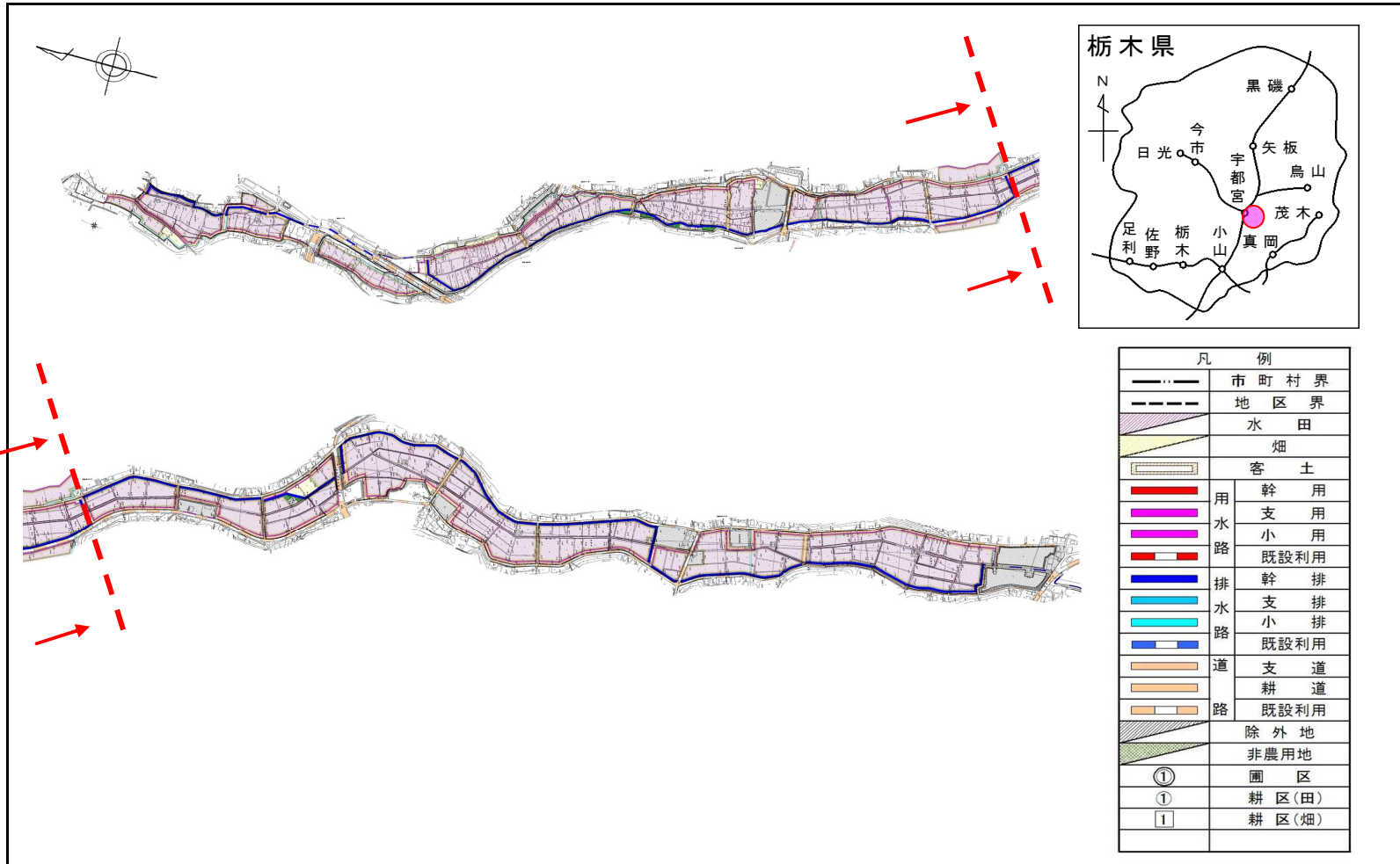
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業	地区名	かりぬまがわ 刈沼川
関係市町村	栃木県宇都宮市 <small>うつのみやし</small>	事業主体	栃木県
事業目的	<p>本地区は、栃木県宇都宮市の南東部に位置し、東側は清原台住宅団地、西側は清原工業団地に挟まれた刈沼川沿いの水田地帯であり、水稻を中心とし二条大麦、なす等を組み合わせた営農が展開されている。</p> <p>本地区の農地は、未整備であり小区画不整形で、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなっている。また、水路は用排兼用の土水路で、老朽化が著しく、水管理や維持管理に多大な労力を費やすなど生産性の極めて低い農業条件となっている。</p> <p>このため、本事業により、区画整理による大区画化や用排分離による水田の汎用化を図ることで、生産性の高い優良農地を確保するとともに、農業生産性の向上や担い手への農地集積の加速化を図り、立地条件を活かした首都圏農業として本地域の農業競争力の強化を図るものである。</p>		
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費
	40ha	96戸	1,197百万円
	主要工事	区画整理 40ha	
	関連事業	—	
費用対効果	B : 総便益	C : 総費用	B / C
	1,628百万円	1,241百万円	1.31
算定方式	総費用総便益比方式		
概要図	別添のとおり		

出典：刈沼川地区土地改良事業計画概要書（栃木県農地整備課作成）

概 要 図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 刈沼川地区



凡 例	
— · — · —	市 町 村 界
- - - - -	地 区 界
▨	水 田
▨	畑
▨	客 土
■	用 幹 用
■	支 用
■	小 用
■	路 既設利用
■	排 幹 排
■	支 排
■	小 排
■	路 既設利用
■	道 支 道
■	耕 道
■	路 既設利用
▨	除 外 地
▨	非農用地
①	圃 区
①	耕 区(田)
①	耕 区(畑)

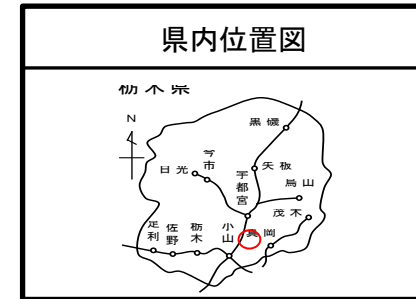
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業	地区名	やくしじ しば 薬師寺・柴
関係市町村	栃木県下野市	事業主体	栃木県
事業目的	<p>本地区は、栃木県下野市の南部に位置し、台地上に挟まれた南北に伸びる水田地帯であり、水稻を中心とし二条大麦、大豆、ほうれんそう等を組み合わせた営農が展開されている。</p> <p>本地区の農地は、区画が不整形で農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなっている。また、用水路は土水路であり、維持管理に多大な労力を要するとともに排水路は老朽化しており、反復利用の堰があるため、水位が常時高く排水不良を来し、高収益作物の導入が進まない生産性の低い農地となっている。</p> <p>このため、本事業により区画整理による大区画化を実施することにより、農業生産性の向上と農業生産の選択的拡大、担い手への農地集積の加速化を図る。また併せて、立地・交通の利便性を生かした「首都圏農業」の振興を図ることにより、本地域の農業競争力の強化を図るものである。</p>		
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費
	66ha	167戸	1,681百万円
	主要工事	区画整理 66ha	
	関連事業	—	
費用対効果	B : 総便益	C : 総費用	B / C
	1,998百万円	1,442百万円	1.38
概要図	別添のとおり		

出典：薬師寺・柴地区土地改良事業計画概要書（栃木県農地整備課作成）

概要図

農業競争力強化農地整備事業(農地整備事業) 薬師寺・柴地区



凡 例	
---	市 町 村 界
---	地 区 界
■	水 田
■	畑
□	不 整 地
■	暗 渠 排 水
■	幹 線
■	支 用
■	小 用
■	既 設 利 用
◆	揚 水 機
■	送 水 管
---	パ イ プ ラ イ ン
■	支 排
■	小 排
■	暗 渠 管
■	既 設 利 用
■	生 態 系 水 路
■	支 道
■	耕 道
■	既 設 利 用
■	非 農 用 地

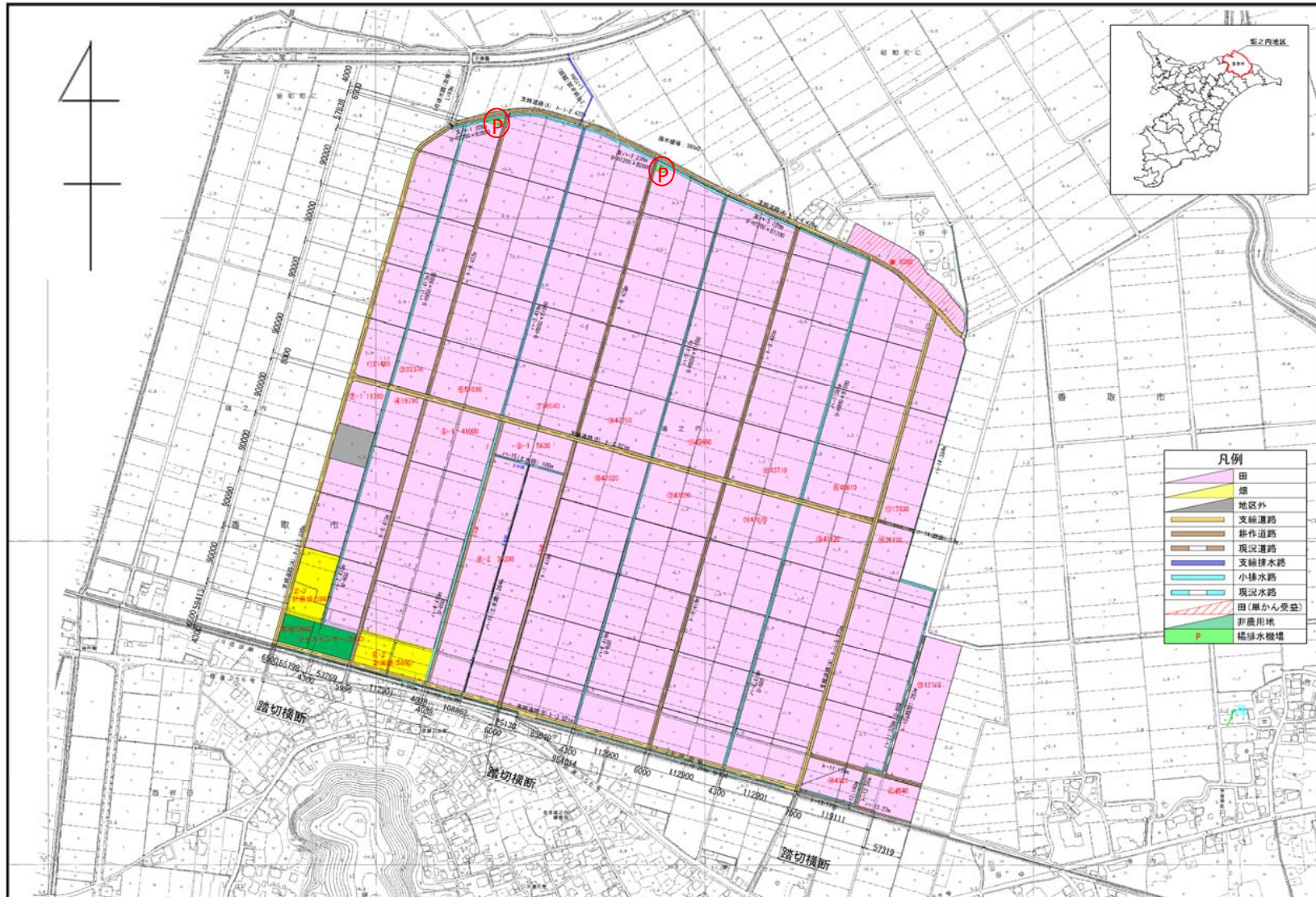
地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業	地区名	ほりのうち 堀之内	
関係市町村	千葉県香取市	事業主体	千葉県	
事業目的	<p>本地区は香取市西部に位置し、一級河川大須賀川と上八間川に挟まれた水田地帯であり、水稻を中心とした営農が展開されている。</p> <p>本地区の農地は、用排水路や道路の整備が行われてきたものの、点在する小区画のほ場や幅員の狭い農道、用排水路は土水路であることなどが営農の障害となっている。加えて、農業者の高齢化に伴い、担い手へ農地を集積・集約し、農地を維持していくためには一刻も早い基盤整備及び担い手の育成が望まれている。</p> <p>このため、本事業により、区画整理による大区画高生産ほ場を設け、暗渠、用排水路、農道の一体的な整備により、生産基盤の確立と営農の省力化を図るとともに農地流動化計画を推進し、将来に向けた担い手農家及び営農組織を育成することで、本地域の農業競争力の強化を図るものである。</p>			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	72ha	100戸	1,192百万円	平成30年～35年度
	主要工事	区画整理 72ha		
	関連事業	国営かんがい排水事業 両総地区 県営湛水防除事業 川尻地区		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,858百万円	1,404百万円	1.32	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：地区土地改良事業計画概要書（千葉県耕地課作成）

概要図

農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業） 堀之内地区



地区別事業概要

事業名	農業競争力強化農地整備事業 農地整備事業	地区名	<small>ほたり</small> 穂足	
関係市町村	<small>ほくとし</small> 山梨県北杜市	事業主体	山梨県	
事業目的	<p>本地区は山梨県北杜市の南部に位置し、塩川及び須玉川に挟まれた農業地帯であり、食味が高いと評価を得ている「梨北米」の産地として水稻を中心とした営農が展開されている。</p> <p>本地区の農地は、ほ場が狭小なため大型機械の導入がままならず、地域の担い手への農地の集積が進まないことが大きな課題となっている。また、地区内の農道は幅員が狭く未整備な路線が多いため、営農に支障をきたしているとともに用排水路に至っては老朽化等により通水機能が低下しているため水管理等に時間を費やしている。</p> <p>このため、本事業により区画整理を行うことで、農地の大区画化や汎用化が可能となり、将来の農業生産を担う担い手への農地の集積を促進させるとともに、労働時間や生産費の縮小に繋がり経営の安定化を図り、本地域の農業競争力の強化を図るものである。</p>			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工期
	47ha	412戸	1,320百万円	平成30～36年度
	主要工事	区画整理 47ha		
	関連事業			
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	1,484百万円	1,186百万円	1.25	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：穂足地区土地改良事業計画概要書（山梨県耕地課作成）

